

各博物館の紹介と催し物(1月～3月)

美並ふるさと館

円空ゆかりの地に「円空ふるさと館」と「美並生活資料館」からなっており、円空仏約90体の展示や、昔の暮らしぶりをジオラマで再現しています。林業関連の道具及び書類等の資料は星宮神社社叢とともに林業遺産に選定されています。



①円空彫り教室(初めての方でも大丈夫です!!)

【内 容】日常を離れてじっくりと円空彫りに取り組んでみませんか?講師が丁寧に個別指導をします。道具お貸しします!! 【講 師】田中 正 先生(郡上円空会副会長) 【期 日】毎月第3土曜日 13:00～15:00

【参加費】1回500円 【申込先】日本まん真ん中センター(☎79-3700)

②第7回郡上新四国八十八ヶ所の石仏写真展(通年開催中)

【内 容】大正12～15年にかけて、郡上新四国八十八ヶ所として各地に石仏が建立されました。今回は美並町に残る石仏6体の写真を展示しています。先人たちが石仏に込めた思いを感じながらご覧ください。

明宝歴史民俗資料館

収蔵資料のうち、山村生産用具と人生儀礼用具約3,500点が国の重要有形民俗文化財の指定を受けています。奥美濃や山村地域の習俗を知る貴重な資料となっています。

①奥美濃よもやま話を読む会 【期 日】毎月第4火曜日 19:00～21:00

②サテライト展示『迎春』をテーマにした分散展示 @みのま

【内 容】お正月にちなんだ展示をしています。 【期 間】開催中～1月中旬

③サテライト展示『表彰』をテーマにした分散展示 @みのま

【内 容】表彰状や勲章などに関わる展示をします。 【期 間】1月中旬～2月末

④サテライト展示『ひな祭り』をテーマにした分散展示 @みのま

【内 容】かわいらしいお雛様を展示します。 【期 間】3月～4月3日(木)



たかす開拓記念館

戦前、満州開拓からの苦難の引き

揚げ、戦後、厳しい自然条件の蛭ヶ野高原をはじめとする高鷲村各所で進められた、大規模な「開拓」をメインテーマとし、当時の資料や道具、関わった人々の証言をもとに、その歴史や暮らしを分かりやすく展示しています。



施設名	住所	電話	入館料	休館日等
郡上市歴史資料館	八幡町中坪226-1	☎65-3711	入館無料	月曜日
郡上八幡まちなみ交流館	八幡町殿町63-1	☎65-5188	入館無料	水曜日
郡上八幡楽藝館	八幡町島谷789-1	☎66-1011	一般220円	月曜日
古今伝授の里フィールドミュージアム	大和町牧912-1	☎88-3244	一般320円(3館共通)	火曜日
白山文化博物館・白山瀧宝殿	白鳥町長滝402-11	☎85-2663	一般320円	火曜日(白山宝殿:冬季休館～4月下旬)
たかす開拓記念館	高鷲町大鷲1244-8	☎72-6321	入館無料	月曜日
美並ふるさと館	美並町高砂1252-2	☎79-3440	一般220円	月曜日
明宝歴史民俗資料館	明宝気良154	☎87-2119	一般220円	3月31日(月)までの平日は休館※平日は予約制
和良歴史資料館	和良町宮地1121-1	☎77-4011	一般220円	火・木曜日

発行機関 郡上市教育委員会社会教育課(0575-67-1128) 発行日 令和7年1月1日

回覧



郡上まるごとミュージアム

第16号

古今伝授の里フィールドミュージアムで出会う

大正・昭和・平成と受け継がれた郡上の短歌史

毎年1月中旬、宮中で「歌会始の儀」が行われ、ニュースでも今上天皇の御製が紹介されますね。郡上からは、昭和30年(1955年)の「歌会始の儀」で、日置広雄さんの次の短歌が選ばれました。

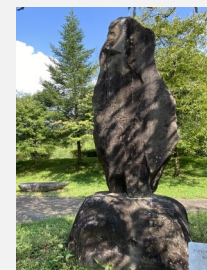
「すし^お庄すと朴^{すす}の若葉を濯ぐなり澄みてゆたけき^{せと}背戸の泉に」

朴葉寿司をつくるために、家の裏の清らかな湧水で朴の若葉を洗うのだ、という短歌です。

短歌というと「難しそう!」というイメージがあるかもしれませんが、近代以降の短歌は、生きる中で出会う感動を詠みあげるもので、郡上全体でとても盛んでした。岐阜県内でも「郡上歌壇」として一目置かれるほどでした。

大正時代、郡上農林学校(現・郡上高校)の教員や生徒を中心に「氾濫」という短歌雑誌が生まれ、全国に広まりました。戦後、「氾濫」のメンバーだった、日置広雄、金子貞二、土松新逸らが、「きたみの」という短歌雑誌を創刊すると、和良の小林峯夫や池戸愛子、八幡の石丸正子、高鷲の福手きぬ、大和の桑田靖之や石神亮生らが作品を出しました。横関信雄による「群鳥」には、八幡の筒井紅舟や藤川五百子、大和の木島泉らが作品を出していました。他にも多くの郡上の方が短歌を詠み、歌集を出しました。

冒頭の「歌会始の儀」を紹介する宮内庁のWebサイトには「短歌は、日本のあらゆる伝統文化の中心をなすものといわれています」とあります。この機会に、郡上の短歌に触れてみませんか。



写真左:「氾濫」、写真中央:「群鳥」、写真右:日置広雄さんの歌碑

郡上の歴史を知る

和歌文学館企画展「岐阜県歌壇史をひもとく特別編～躍動する郡上歌壇(近・現代編)～」

会期:3月31日(月)まで(火曜休館、10:00～16:00、入館料:高校生以上320円)

短歌に初挑戦!

はじめてのわかりやすい短歌教室 毎月第2土曜日 13:30～ 参加費500円(詳しくは内面を)

「氾濫」「きたみの」をはじめ、市内各地で手刷りの同人誌が多く刊行されました。処分する前にぜひ寄贈してください!

問い合わせ 古今伝授の里フィールドミュージアム 88-3244

郡上まるごとミュージアムスタンプラリー2024開催中

現在、郡上まるごとミュージアムに掲載している博物館9館で「郡上まるごとミュージアムスタンプラリー2024」を2月末まで開催しています。スタンプを集めて、素敵な景品をゲットしよう!!

2/28
まで!



各博物館の紹介と催し物(1月～3月)

郡上市歴史資料館

- ①企画展示 「郡上藩の『その後』—『坂東家文庫』展Ⅲ—」
 【内 容】郡上藩の解体と藩なき後の旧藩主と旧家臣の交流をとりあげます。
 【期 間】開催中～1月22日(水)
 ②郡上の資料寄贈等の相談会
 ～ 郡上の過去がわかる資料の情報をお寄せください～
 【期 日】1月19日(日) 10:30～ 【参加費】無料
 ③ふるさと郡上 映像シアター
 【内 容】祭りや風景など、懐かしい郡上の映像を一緒に楽しみませんか。
 【期 日】2月16日(日)、3月16日(日) 13:30～15:00 【参加費】無料
 ④読んでみよう! 郡上の古文書講座
 【期 日】毎月第2日曜日 10:00～11:30、13:30～15:00
 【参加費】300円
 ⑤実践! 郡上の古文書どんどん読もう会
 【期 日】毎月第4土曜日 13:30～16:00
 【参加費】無料



郡上八幡まちなみ交流館

城下町郡上八幡の近世からの成り立ち、北町大火からの復興、八幡城の建設、まちなみの建物の特徴や保存の取り組みなどを紹介しています。



和良歴史資料館

和良町内の遺物や戸隠神社の宝物などの文化財や、民俗資料、和良町全域に生息し、2300万年前から姿かたちを変えずに生き続けている国の特別天然記念物オオサンショウウオの写真と模型を展示しています。



- ①ちいさな企画展「和良の神社と狛犬」
 【内 容】和良町内に所在する神社と狛犬に関する展示をしています。
 【期 間】開催中～3月

【1月26日は文化財防火デー】
 貴重な文化財を守るため、日頃から火の元への注意を心掛けましょう。



「郡上市博物館共通年間パスポート券」販売中!!

古今伝授の里フィールドミュージアム

「国名勝東氏館跡庭園」や「国史跡東氏館跡及び篠脇城跡」などの歴史的遺産や、「東氏記念館」・「和歌文学館」・「大和文化財収蔵展示館」、「短歌の里交流館よぶこどり」などの施設があります。



- ①はじめてのわかりやすい短歌教室
 (年間を通じて開催します)
 【内 容】初心者向けの短歌教室 【講 師】清水 春美 先生
 【期 日】2月8日(土)・3月8日(土) 13:30～
 【参加費】1回500円 【会 場】篠脇山荘
 ②心絵一筆講座(年間を通じて開催します)
 【内 容】手紙に添える絵(俳画)を習います(初心者の方大歓迎!!)
 【講 師】加藤 としえ 先生(書画アーティスト)
 【期 日】3月20日(木・祝) 13:00～14:30
 【参加費】1回2,000円(初回は手ぶらの参加可です!)
 【会 場】短歌の里交流館よぶこどり学習室
 ③和歌文学館企画展

「岐阜県歌壇史をひもとく特別編—躍動する郡上歌壇(近現代編)—」

【内 容】大正12年に、郡上農林学校教員・武田全と日置広雄ら生徒により創刊された短歌誌「汜濫」を中心に、戦後の昭和から平成にかけての「きたみの」(金子貞二ら)や「群鳥」(横関信雄)の歩みを通して、郡上の短歌活動の様子を紹介します。

【期 日】開催中～3月31日(月) 【会 場】和歌文学館

④市民作品展「古今和歌集の草花」展

【内 容】『古今和歌集』に登場する草花をモチーフにした作品を展示します。絵、書、写真、布細工、短歌、詩など、表現分野は問いません。

【期 間】2月20日(木)～3月30日(日)

10:00～15:00(最終日は14:00まで) 【会 場】篠脇山荘

【搬入日】2月9日(日) 10:00～14:00、1点から出展可、出展料は無料、初参加の方大歓迎!

①・②: 初参加の方は1週間前までに必ずお申し込みください。
 古今伝授の里フィールドミュージアムWebサイト



○郡上まるとミュージアム
 FacebookのQRコード



○郡上まるとミュージアム
 最新号は、QRコードからダウンロード可能



郡上八幡楽藝館

近代に建てられた旧・林療院を保存活用し、診療室やレントゲン設備などの展示の他、市民が創作した作品や郡上をテーマとした作品の展示を行っています。



- ①郡上画廊「郡上市美術作品展」
 【内 容】郡上市民芸術文化展に出展された郷土芸術家と委嘱作家の絵画・彫刻工芸・陶芸・書(かな・漢字・調和体)・写真の作品を展示しています。
 【期 間】開催中～1月26日(日)
 ②市民展示室「郡上特別支援学校作品展」
 【内 容】郡上特別支援学校の生徒が作成した作品を展示しています。
 【期 間】開催中～1月26日(日)
 ③市民展示室「山の恵み」作品展 キノコと木の実
 【内 容】散策して見つけたキノコ、木の実、木の根などを使い、装飾的に仕上げた作品を展示します。
 【期 間】1月28日(火)～3月下旬 ※展示期間の変更等があります。
 ※次回の郡上画廊・市民展示室は展示が決まり次第、別途お知らせします。

白山文化博物館・白山瀧宝殿

【白山文化博物館】白山への信仰にまつわる歴史文化や自然を紹介するテーマ展示や、長滝地区に伝わる貴重な文化財をはじめ、白山麓の山里の暮らしを伝える歴史民俗資料や、郡上宝暦騒動の資料を展示しています。



①文化財展示室企画展「白山文化の面と郡上の芸能」

【内 容】長滝白山神社をはじめ、八幡町の小野八幡神社、高鷲町の切立白山神社など、市内に伝わる古楽面を中心に、中世の演能とそれを受け継ぐ芸能ともいえる大和町の薪能「くるす桜」の元となった謡曲「くるす桜」の原本の展示を通じ、郡上における白山信仰のもとで生まれ、現代へとつながる芸能の流れを紹介しています。

【期 間】開催中～2月10日(月)

②文化財展示室特別陳列「美濃馬場 阿名院の十二天神」

【内 容】美濃馬場の阿名院に伝わる十二天の姿を一幅ずつ描いた掛け軸。それはインドで古くから信仰されていた神などが仏教にとり入れられて仏教の教えを護る護法神となったもので、あらゆる場所・時間において仏教を守護する存在として、寺院での玉体安泰・鎮護国家・五穀豊穡・万民豊樂を祈る法会などに用いられたといわれます。本展では阿名院が完全セットで伝えるこれらを一堂に展示いたします。

【期 間】2月19日(水)～3月31日(月)